

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 鈴木 智
日 時		令和2年11月20日(金曜日)		開 議 午後 2時 10 分 閉 議 午後 2時 41 分
出席委員		◎小川 ○三上(広報部会長) ○赤坂(広聴部会長) 富谷 浅田 大塚 木村 三宅 松山		
事務局 出席者		山内事務局長、井上次長、鈴木議事調査係長、小野主任、山内主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員 0名(-)

会 議 の 概 要

14 : 10

[小川委員長 開議]

1 広報部会活動

(1) 議会だよりについて

○No.187の編集

[三上副委員長 説明]

- ・議会だよりNo.187は、1月31日に発行し、2月1日に全戸配布する。今後、誰が広報部会委員になっても引き継げるようにしていきたい。前回のNo.186は、市民や理事者からいろいろな意見があったと思うので、各委員の意見も聞いておきたい。

<赤坂副委員長>

No.186は分かりやすく非常によかったが、字を大きくしてほしいと言われた。今年新型コロナウイルスの影響により、あまり活動できずに1年が経過した。QRコードを議会だよりに掲載する等の取組を検討していきたい。

<富谷委員>

No.186は高評価であった。表紙が画期的であり、読もうという気になったという声を聞いた。

<大塚委員>

事務事業評価が0点になったと誤解される表現が表紙にあったので、一生懸命やってこられた執行部に対してどうかという意見が会派の中であった。

<浅田委員>

先日コウノトリの写真を新たに撮影した。また、熱気球からの写真もあるので、今後活用できるように事務局に渡しておく。

<三宅委員>

No.186の表紙は斬新で画期的であった。他市の議会だよりは文字が多いが、亀岡市議会だよりはそうではなく、読みやすいと思う。

<木村委員>

斬新であったが、事務事業評価について厳しく書かれており、理事者はどう考えているのか知りたい。

<赤坂副委員長>

事務事業評価を0点としたのは、改善して、さらによくしてほしいと思っているからである。

<松山委員>

市民が見られるものであり、これでよかったと思っている。表紙については、新たな取組として実施したものであり、よかったと思う。今年も、新型コロナウイルスの影響で広報広聴会議の取組が制限された。今後は、ざっくばらんに話せるような機会を持てればよいと考える。

<三上副委員長>

議会も予算を認めていたという自戒の念も含め掲載している。No.187については、3面目をどうするかを考えていきたい。議員を身近に感じられる内容にするのか、議会で議論した内容を深く掘り下げて掲載するのか等、意見をいただきたい。また、No.186について、市役所内での声はどのようなものがあったのか、率直に聞きたい。

<議事調査係長>

執行部の声としては聞いていない。担当者としては、日々広報部会で尽力されている姿を見ている。議会だよりの評価の賛否が分かれたとしても、今後も議会をしっかりサポートしていきたいと考える。

<小川委員長>

No.186については、誤解を招く表現があったのは事実である。広報部会でまとめられた、議会だよりの原稿を確認できなかったという思いもある。今後、広報部会で検討いただきたい。No.187がよりよいものになればと考える。

2 広聴部会活動

(1) 環境事業公社の吉川小学校学習支援事業について

[赤坂副委員長 説明]

- ・こども議会の名前をハッピーサミット in 吉川にしたいと考えているが、各委員の意見を聞きたい。また、こども議会は、新型コロナウイルスの影響により中止の場合もあるので、了承いただきたい。

<小川委員長>

ハッピーサミット in 吉川という名称についてどう考えるか。

<松山委員>

こども議会は堅いので、ハッピーサミット in 吉川でよいと考える。身近に感じてもらえる響きだと思う。

<三上副委員長>

あくまで学校の授業であり、主体者は子どもたちである。子どもたちに考えてもらえばよいと思う。また、見てわかるようなサブタイトルもつけておくべきである。

<赤坂副委員長>

子どもたちにも聞いていきたい。また、各自治会に置いたアンケート用紙を、年末までに回収しよう考えている。

<小川委員長>

2月に委員の改選が行われるので、それまでに区切りをつけたいと考えるものである。

<三上副委員長>

できれば、こども議会の記事を議会だよりのNo.187に掲載したい。

<小川委員長>

編集の日程はどのようになっているのか。

<事務局主任>

これまでの例で考えると、1月21日か22日が校了日となる。19日のこども議会終了後すぐに、写真をはめ込むだけにしておくのは可能である。

<三上副委員長>

大きなイベントであり掲載したい。以前、発行日を遅らせたこともあったので、スケジュールを見て考えていきたい。

<小川委員長>

2月15日に全戸配布するのは可能であるのか。

<議事調査係長>

そのように決定いただくのであれば調整させていただきたい。2月15日に全戸配布となれば、編集いただく時間は十分あると考える。また、印刷業者とも調整していきたい。

<三上副委員長>

12月議会の報告がメインであるので、本来は遅らせたくはない。全学校での取組ではないので、特別な配慮はあまりできないかもしれない。

<大塚委員>

こども議会を表紙にするもの1つの案である。

<小川委員長>

広報部会で検討していただきたい。

3 その他

(なし)

散会 14:41